

# 東三河地区 家庭教育を考える会 「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和5年11月22日（水）午後1時20分から午後4時10分
- 2 会場 豊川市勤労福祉会館（大研修ホール）
- 3 参加者 ・44人  
・来賓、講師、助言者3人 ・協議会委員19人  
・顕彰団体代表者2人  
・協議会委員以外の参加者20人（教育行政関係者11人、ボランティア団体1人、NPO法人1人、施設園長1人、小中学校PTA6人）

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後1時20分から午後1時40分まで  
優良家庭教育推進組織等顕彰  
東中おやじの会（豊川市：豊川市立東部中学校）



東中おやじの会は、「PTA・教員・おやじの会による三位一体」をテーマとして平成22年より活動を行っています。当時の東部中は荒れており、「地域で力を合わせ、東部中を支えよう」との思いからスタートしました。今では70人を超える会員が在籍し、挨拶運動や防災学習会、働く人に学ぶ会の講師など、さまざまな面で東部中生を支えています。

- 2 講演 午後1時45分から午後2時15分まで  
「思春期における家庭教育」

豊川市立代田中学校長 立川 恵理 様



子どもは、思春期に課題を乗り越え大きく成長していきます。失敗から学ぶことも多く、失敗は成長のチャンスだと言えます。「自分で考え」、「自分の言葉で表現し」、「協力」できるように温かく見守っていきましょう。

また、地域としては、学校や家庭以外の子どもの居場所作りや、悩める親が相談できる関係づくりなどをおして、親の「心のよりどころ」となるように心がけていきたいものです。

### 3 「グループ協議・全体会」 午後2時15分から午後4時5分まで ＜テーマ＞

#### 家庭教育支援の在り方について



グループ協議

事前に家庭教育支援についての質問・疑問を集約してグループ分けを行い、5グループに分かれグループ協議を行いました。



#### Aグループ

子どもをいろいろな角度から見ていくことが大切。体験的に学ばせる余裕も必要。その中で認めて、ほめていくことを重視したい。

#### Bグループ

相談窓口を民間にもつなげていき、東三河全体で対応できるようにしたい。お互いの事業についてもっと詳しく知るべき。

#### Cグループ

不登校の理由はさまざま家庭の状況をしっかり理解して対応したい。教育と福祉の連携で、少しでも保護者の負担を軽くしたい。

#### Dグループ

相談機関は予約でいっぱいの状態。しかし、その子どもを理解して、保護者と一緒に問題点について考えることが大切である。

#### Eグループ

行政の横の連携を強化するなどの方策で、相談者が気持ちよく相談できるようにして、親の孤立を防ぎたい。まずは相談窓口に来てもらうための努力が必要。

全体会ではグループごとに協議された内容を共有しました。

#### 【参加者の声】

- ・立川先生の基調提案は、納得することがたくさんありました。
- ・今日出された意見や気づきを地元で多くの人に伝えていくことが大切だと思いました。
- ・相談の窓口を明確にし、横の連携を図るなどのサポート体制づくりが大切だと感じました。

### 4 閉会行事 午後4時5分から午後4時10分まで

## Ⅲ 今後の取組について

基調提案では、講師の立川校長から、家庭教育について分かりやすく話していただき、参加者の家庭教育についての理解が深まった。また、グループ協議では、関心のあるテーマごとにグループを組んだこともあり、熱心に話し合いが行われた。

一方で、テーマが「家庭教育支援について」という大きなものであったことから、一部で話がかみ合わなかった部分も見られた。次年度もグループ協議を行いたいと考えるが、テーマの分野をもう少し絞って、そのテーマに沿って参加者を募ることも考えたい。